

たのしい食育

※このおたよりは、食に関する情報を載せていますので、お子さんと一緒にご覧ください。

令和8年1月
編集・発行
福知山市学校給食会
学校給食センター
(中学校)

学校給食の移り変わり

給食が始まった明治22年から現在にかけて、学校給食がどのように変化してきたのかを見てみましょう！



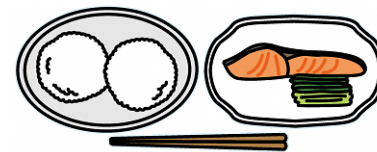
1月24日～30日は、全国学校給食週間です！

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の市立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まっていきましたが、戦争による食料不足で一時中断されました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されました。

当初は、給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

明治22年



給食が始まった当初は、おにぎりや焼き魚、漬物などが提供されていました。



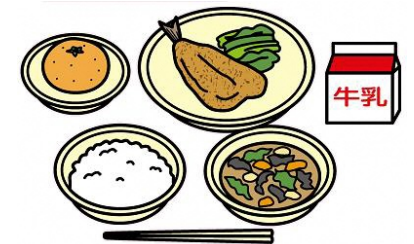
戦後

(昭和20年～30年代)



支援物資である小麦粉や脱脂粉乳、缶詰などを使った給食が提供されていました。

現在



地場産物や旬の食材を取り入れる他、行事食や郷土料理など、食育の教材となる給食が提供されています。

「全国学校給食週間 特別献立 ～給食で学ぼう！日本の万博～」

※今年度、福知山市では、1月23日～29日までを給食週間として、特別献立を実施します。

今年度の4月～10月まで、大阪・関西万博が開催されていました。そこで、今年度の給食週間では、今までに日本で開催された万博について知ると共に、その開催地の食文化について学ぶことができるよう、郷土料理や特産品などを活かした献立を取り入れています。また、最終日は、大阪・関西万博に関わる特別献立です。

1月23日（金）沖縄県

「沖縄海洋博」

～海-その望ましい未来～

— 献立 —

- ・ご飯
- ・牛乳
- ・マンビカーのシークワサーソース
- ・もずくのチャプチェ
- ・アーサ汁



1月26日（月）茨城県

「つくば科学万博」

～人間・居住・環境と科学技術～

— 献立 —

- ・ご飯
- ・牛乳
- ・煮合い
- ・パイタ焼き
- ・米粉のタルト（さつまいもと栗）



1月27日（火）愛知県

「愛・地球博」

～自然の叡智～

— 献立 —

- ・ご飯
- ・牛乳
- ・みそささ身カツ
- ・れんこんサラダ
- ・きしめん



1月28日（水）大阪府

「大阪・関西万博」

～いのち輝く未来社会のデザイン～

— 献立 —

- ・かやくご飯
- ・牛乳
- ・揚げたこ焼き
- ・お好みサラダ
- ・肉吸い



1月29日（木）

「EARTH FOODS25」

～世界へ発信したい日本の食品～

— 献立 —

- ・セルフ栗入りあんサンド（味付けパン）
- ・牛乳
- ・かんぴょうとたくあんの梅サラダ
- ・豆乳みそスープ

